

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年1月14日（金）10時00分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

新井安全審査官、高木係長、横山係長、久川係員、高木技術参与

澁谷企画調査官、知見主任安全審査官（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

黒川原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当11名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 2号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査・試験的取り出し作業のうち PCV 貫通孔付近の凹凸除去作業状況について
 - ✓ 2号機 PCV 内部調査の準備段階として、PCV 貫通孔（以下「X-6 ペネ」という。）ハッチ開放にあたり、事前に隔離部屋を設置する作業を開始し、X-6 ペネ前小部屋内の敷き鉄板を撤去したところ、床面に凹凸があることを確認した。
 - ✓ 本年1月7日に床面凹凸除去作業を実施したところ、作業監視用のダストモニタ指示値の上昇傾向を確認したため、作業を一時停止した。作業停止後もダストモニタ指示値が上昇し、一時的に作業停止基準値を超えたため、作業を中断した。
 - ✓ 作業中断後、ダストモニタ指示値は平常時の値に戻ったことを確認するとともに、可搬式ダストサンプラで作業エリアを測定し、問題ないダストレベルであることを確認した。また、構内ダストモニタや敷地境界ダストモニタ及びモニタリングポストの指示値に有意な変化がないことを確認した。
 - ✓ 今後、更なるダスト抑制対策を検討し、作業を再開する予定。
 - 3号機 使用済燃料プール一次系ポンプ入口圧力低下事象について
 - ✓ 3号機使用済燃料プール循環冷却一次系を復旧させるため、2021年12月15日にシステム入口弁を開操作したところ、一次系ポンプ入口圧力低下を確認した。
 - ✓ 2021年12月24日に、スキマサージタンクより5m³程度の水張りを行い漏えい箇所の調査を行ったところ、フィルターデミ（B）入口配管エルボ近傍からの漏えいを確認した。なお、当該部以外に漏えい箇所やシートパス箇所は確認されなかった。
 - ✓ 今後、修理方法を検討し、対策を講じる予定である。
 - 1号機 原子炉建屋オペレーティングフロアダストモニタの電源供給停止による監視不可事象について
 - ✓ 2021年12月27日に、1号機原子炉建屋オペレーティングフロアのダストモニタが電源供給停止により監視不可となった。

- ✓ 調査の結果、ダストモニタを格納しているコンテナ（E）内部に設置したエアコン2台のうち1台が漏電し、ダストモニタ及びエアコンへの電源供給系統において漏電遮断器が動作したことを確認した。
 - ✓ 当日中に漏電したエアコンを除外し、ダストモニタを復旧させており、今後、エアコンの漏電の原因調査及び修理を実施する予定である。なお、復旧後のダスト濃度は、基準値以内であることを確認している。
- 3号機 残留熱除去系（RHR）系統 滞留ガスのパージ作業について
 - ✓ 3号機 PCV 取水設備の設置に向け、既設の RHR（A）の配管（以下「既設配管」という。）に取水点を構築するための準備作業として、本年12月3日に既設配管内の気相部のベント操作を実施したところ、排気中に可燃性ガスがあることを確認した。このため、ベント操作は中断した。
 - ✓ その後、本年12月9日にベント配管からの排気を採取し、分析した結果、事故由来の長半減期核種である Kr-85 を確認した。
 - ✓ 今後、資機材の準備等を行い、1月第4週より、滞留ガスのパージ（窒素封入）を予定している。
 - ✓ パージに際し、Kr-85 は、原子炉建屋内への放出を予定しており、事前に敷地境界における被ばく影響の評価を行い、影響が小さいことを確認した。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
 - 3号機 RHR 系統滞留ガスのパージ作業について、Kr-85 の放出による敷地境界の被ばく影響の評価結果の詳細を今後説明すること。

6. その他

資料：

- 2号機 PCV 内部調査・試験的取り出し作業のうち PCV 貫通孔付近の凹凸除去作業状況について
- 3号機 使用済燃料プール一次系ポンプ入口圧力低下事象について【続報】
- 1号機 原子炉建屋オペレーティングフロアダストモニタの電源供給停止による監視不可事象について
- 3号機 RHR 系統 滞留ガスのパージ作業について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール

以上